

市民交流フェスタ2024

～みんなで学ぶSDGs～



キーワード

浜松市、SDGs、地域交流、大学連携

○取り組んだきっかけ

私は、経営学科観光学専攻の村瀬ゼミに所属しています。この事業に取り組んだのは、日頃から、イベントの企画立案に興味があったこと、市民交流フェスタの学生実行委員に応募したことがきっかけです。また、浜松市がSDGsの取り組みに力を入れていることを知り、同じSDGsをテーマにしたこのイベントに関わり、浜松市に貢献したいと思いました。

○活動の目的

浜松市内の大学生が連携して、SDGsに関するイベントを開催することで、同世代がSDGsの内容や目的を理解し、自分事としてとらえる機会をつくること、また、経営学部での学びを活かして若い視点と発想で浜松市を盛り上げていくことを目的としました。

○具体的な内容

6月から9月にかけて、市民交流フェスタ学生実行委員は、イベント開催に向けて役割分担をし、内容や広報計画、予算等について打合せを重ね、無事、開催することができました。

1. 資金集め

イベントを実施するにあたって、資金がありませんでした。そのため、実行委員で話し合いを行い目標100,000円とし、浜松市SDGs推進プラットフォーム会員の団体を中心に、電話やメール、対面で手分けして協賛金の協力の交渉しました。その結果、21企業から協賛金を募ることができ、355,000円集めることができました。

2. 広報活動

A. チラシ・うちわの作成

静岡文化芸術大学の学生がデザインしチラシと夏の開催だったため、当日配布用にうちわを作成しました。うちわはプラスチックを使用しない紙製のものを制作しました。

B. 「市長と話そう」への参加

中野祐介浜松市長に市民交流フェスタのイベント内容や各団体のSDGsの取り組みを紹介し、市長と対面で意見交換を行いました。市長からも質問をいただき和やかな雰囲気の中で相互の交流を深めることができました。



小澤遼哉

経営学部経営学科 3年
市民交流フェスタ実行委員代表



3. 「市民交流フェスタ2024～みんなで学ぶSDGs～」開催

2024年9月21日(土)、22日(日)イオンモール浜松志都呂で「市民交流フェスタ2024～みんなで学ぶSDGs～」を開催しました。

当日は、常葉大学、浜松学院大学、静岡文化芸術大学のサークルやゼミ、有志など計18団体が専門領域の垣根を超えて集い、まちづくり、健康、環境問題、防災など、様々な視点でSDGsについて考える機会を提供することができました。また、少しでも多くのブースでSDGsを学んでもらうための工夫として、スタンプラリーを行い、台紙となるリーフレットを参加者に積極的に配布しました。

私自身は学生実行委員会代表として、各団体の進行状況を確認したり片付けの手順を想定したりするなど、代表としてスムーズな進行をサポートしていました。

私の所属する村瀬ゼミでは、SDGsを知っていただくために、17の目標や取り組みに関わるクイズを行いました。「SDGsの目標はいくつあるのか」基本的な問題や食品ロスに触れ、「作ったけど捨ててしまう食べ物の量は？」という問題には、その量の多さに驚く親子の姿もあり、家族で楽しくSDGsを学んでもらう機会を提供しました。

2日間合計で延べ約2900人の参加者様にご来場いただき、学生教職員延べ206人で運営を行いました。



○期待される効果

上記の活動により、学生団体は持続可能な社会の実現のためにできることを発信し、一人一人ができることは何か、考えるきっかけになりました。当日の学生間の交流については課題が残りましたが、参加した学生のイベント後のアンケートでは9割以上が満足という結果を得ることができました。私自身もイベントを通じて企画力やコミュニケーション能力、課題解決力を身につけることができました。この経験を、将来に活かしていきたいと考えています。



連携先

浜松市内大学地域貢献ネットワーク
(浜松学院大学、常葉大学、静岡文化芸術大学、浜松医科大学)
イオンモール浜松志都呂、浜松市